2026年9月期

決算説明資料

株式会社キャンディル　証券コード：1446

2026.11.12



© CANDEAL Co., Ltd.

Index

01　ハイライト

02　FY2026.9 決算概要

03　FY2027.9 業績予想

04　今後の方針

05　Appendix



© CANDEAL Co., Ltd.

01

ハイライト



© CANDEAL Co., Ltd.

ハイライト

FY2026.9 業績ハイライト

過去最高	売上高	14,777 百万円	YoY	106.6% ↑
過去最高	営業利益	485 百万円	YoY	115.5% ↑
過去最高	のれん償却前経常利益	680 百万円	YoY	111.7% ↑

通期の連結業績は、増収増益／売上高、営業利益ともに過去最高を更新

売上高

売上高は、全サービスが堅調に推移し、過去最高を更新
特に、住環境向け建築サービス、商環境向け建築サービスの好調継続が全体の売上高を牽引

営業利益

・主力サービスの販売好調や値上げ施策の推進などにより、売上総利益が増加
・人的投資(待遇改善など)に伴う人件費の上昇や、物価高騰によるコストの増加、
子会社の事務所移転などによる費用増加などがあったものの、それらを吸収し、営業利益は過去最高を更新

FY2027.9 予想

業績予想

**中長期的な成長に向けて、人的投資、業務効率化とセキュリティ強化を目的とした
システム投資を行いながら、増収増益を計画し、過去最高の売上高・営業利益を目指す**

配当予想

期末配当のみで、1株当たり 10円を予定



© CANDEAL Co., Ltd.

02

FY2026.9

決 算 概 要



© CANDEAL Co., Ltd.

FY2026.9 連結業績

- 全体の売上高は、業績予想には届かなかったものの、前期比を上回って着地
- 利益面では、主要サービスの好調で売上総利益が増加、人的投資などの販管費の増加を吸収しても、営業利益以下の各段階利益は増益となり、業績予想を上回って着地

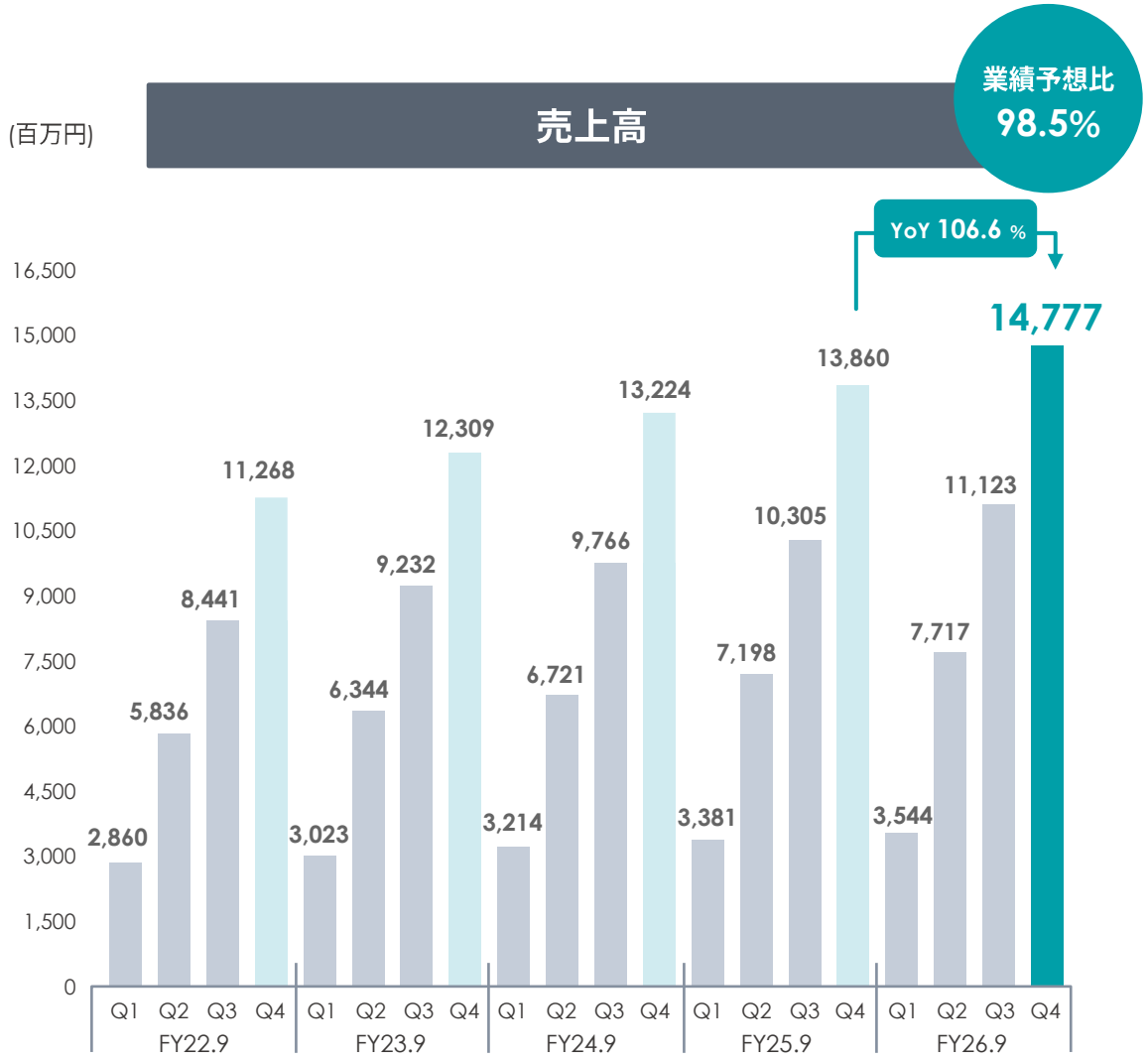
（百万円）		FY2025.9	FY2026.9	増減額	YoY	通期業績予想	業績予想比
売上高		**13,860**	**14,777**	**＋916**	**106.6%**	**15,000**	**98.5%**
	リペアサービス	4,493	4,631	＋138	103.1%	4,550	101.8%
	住環境向け建築サービス	4,148	4,366	＋218	105.3%	4,550	96.0%
	商環境向け建築サービス	4,551	5,127	＋576	112.7%	5,200	98.6%
	商材販売	667	651	▲16	97.6%	700	93.1%
売上総利益		**5,013**	**5,403**	**＋389**	**107.8%**	**ー**	**ー**
	売上総利益率	36.2%	36.6%	ー	＋0.4pt	ー	ー
販売管理費		**4,592**	**4,917**	**＋324**	**107.1%**	**ー**	**ー**
営業利益		**420**	**485**	**＋65**	**115.5%**	**480**	**101.2%**
	営業利益率	3.0%	3.3%	ー	＋0.3pt	ー	ー
経常利益		**417**	**488**	**＋71**	**117.1%**	**460**	**106.2%**
当期純利益		**196**	**244**	**＋48**	**124.7%**	**200**	**122.5%**
のれん償却前経常利益		**609**	**680**	**＋71**	**111.7%**	**ー**	**ー**
	のれん償却前経常利益率	4.4%	4.6%	ー	＋0.2pt	ー	ー
のれん償却前当期純利益		**388**	**437**	**＋48**	**112.5%**	**392**	**111.4%**
ROE		**6.8%**	**8.0%**	**ー**	＋1.2pt	**6.6%** ※1	**ー**

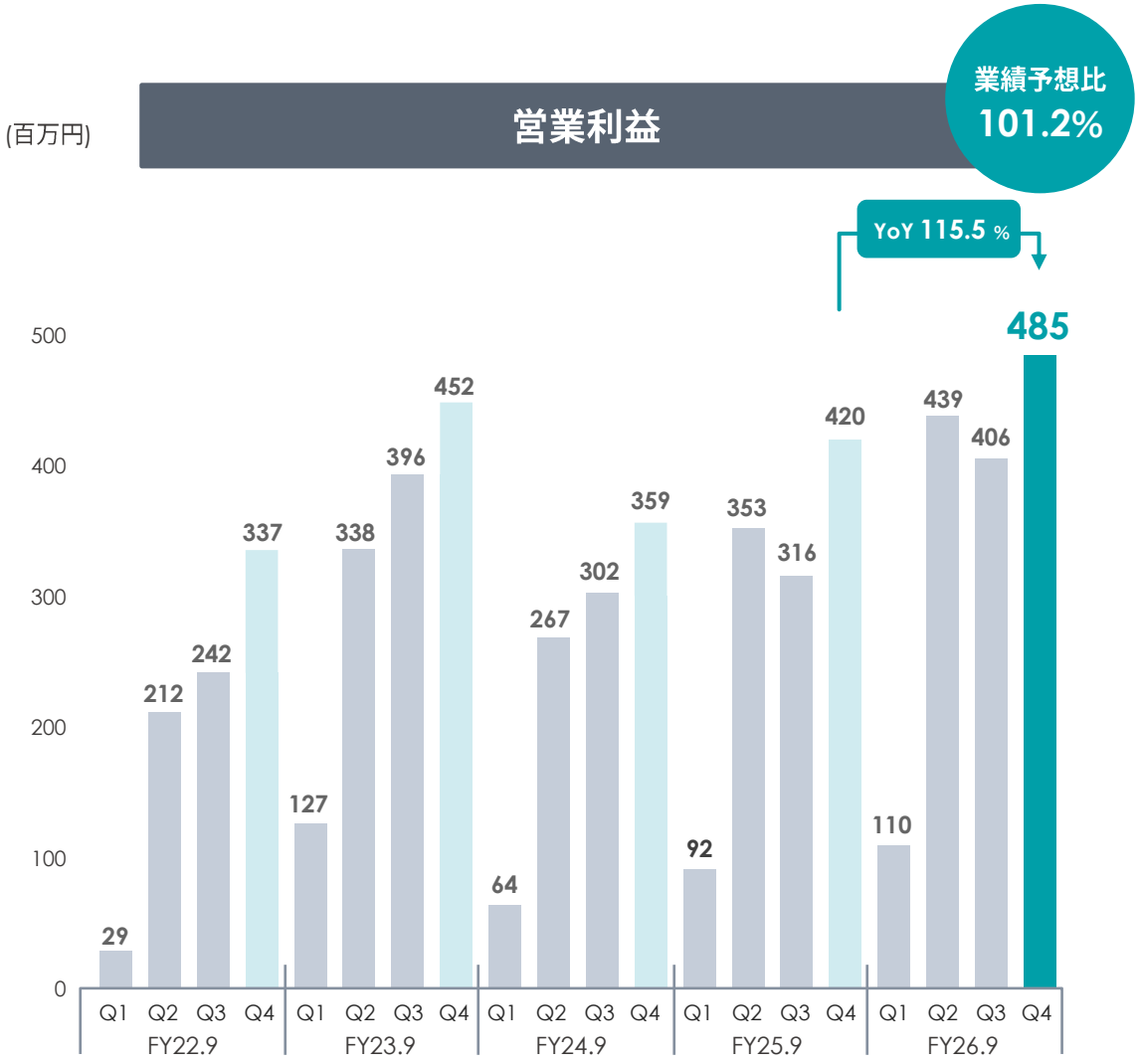
※1：通期業績予想のROEは、上記の通期業績予想による予想純資産額に基づき算定しています

© CANDEAL Co., Ltd.

売上高 ・ 営業利益の推移と進捗率

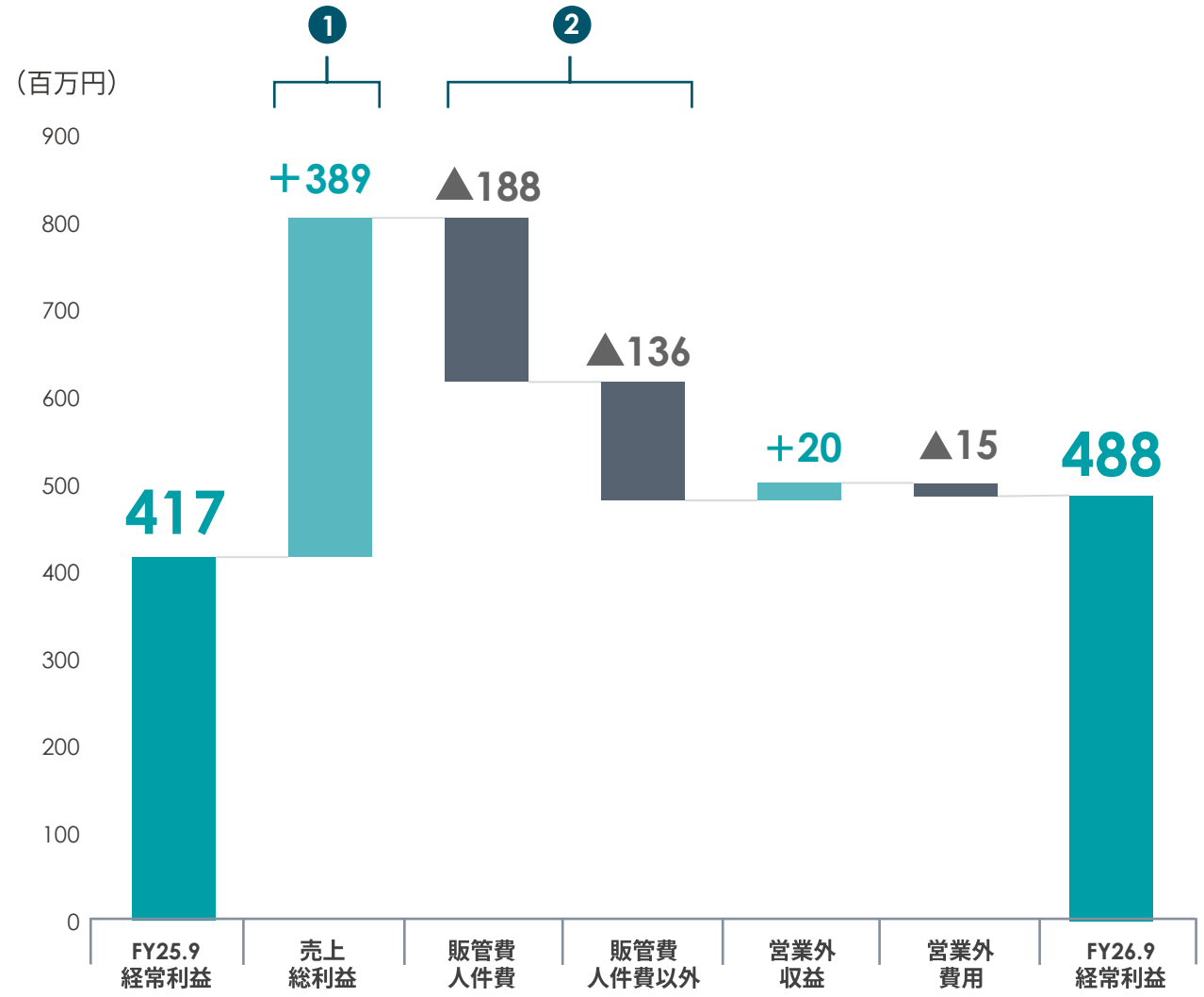
売上高は業績予想に届かなかったものの前期比では増収／営業利益は前期比・業績予想ともに上回り、増益で着地





© CANDEAL Co., Ltd.

経常利益分析



主な増減要因

❶ 売上総利益（増益）

・住環境向け建築サービス、
　商環境向け建築サービスの増収
・値上げ施策の推進などにより増加

❷ 販管費（増加）

[人件費]　　＋188百万円

待遇改善の継続的推進による増加

[人件費以外]　＋136百万円

営業強化による活動費用、採用費、
情報セキュリティ関連費用、子会社の
事務所移転に伴う家賃や備品費用などの増加



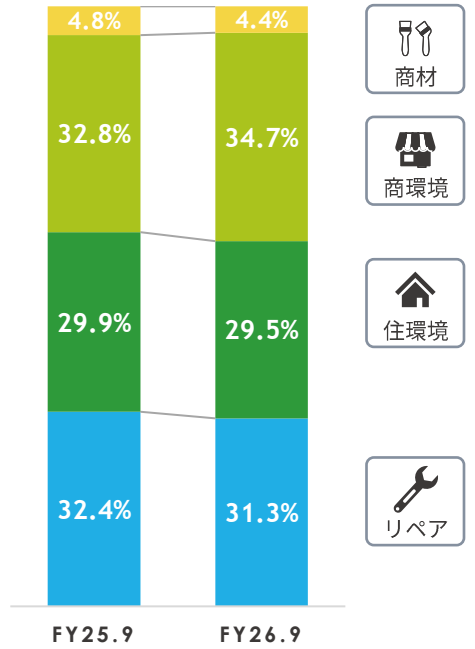
© CANDEAL Co., Ltd.

サービス区分別 売上高

- 住環境向け建築サービスは、定期点検の好調に加え、定期メンテナンス工事やリフィット案件の増加などにより、過去最高の売上高を更新
- 商環境向け建築サービスは、堅調な市場を背景に内装工事が好調に推移し、過去最高の売上高を更新
- リペアサービスは、新設住宅着工戸数の減少影響をうけつつも、前期並みで推移

（百万円）	FY2025.9	FY2026.9	増減額	YoY	通期業績予想	業績予想比
売上高	13,860	14,777	+916	106.6%	15,000	98.5%
リペアサービス	4,493	4,631	+138	103.1%	4,550	101.8%
住環境向け建築サービス	4,148	過去最高 4,366	+218	105.3%	4,550	96.0%
商環境向け建築サービス	4,551	過去最高 5,127	+576	112.7%	5,200	98.6%
商材販売	667	651	▲16	97.6%	700	93.1%

サービス区分別売上高の構成比



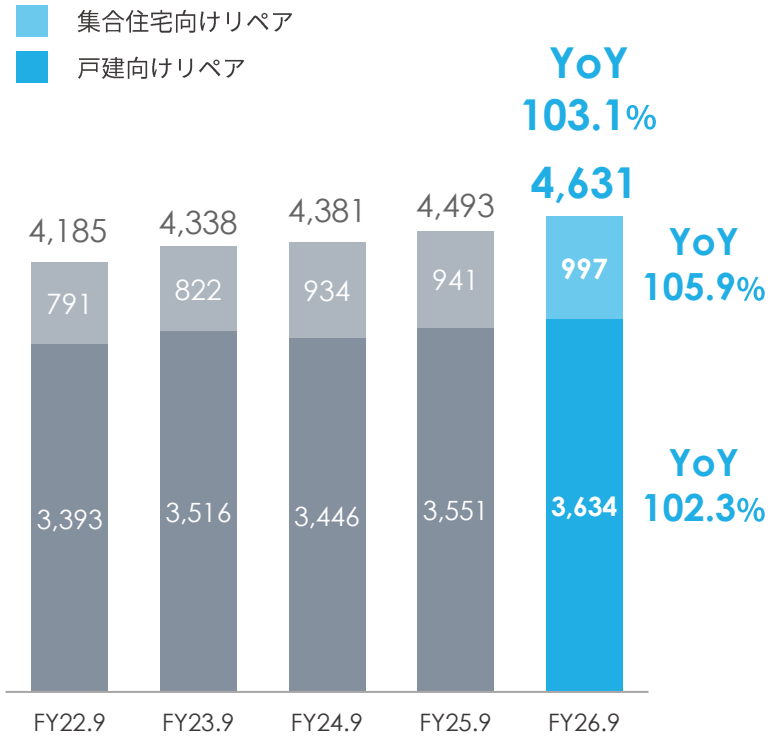
© CANDEAL Co., Ltd.

サービス別状況：リペアサービス

戸建向け 新設住宅着工戸数の減少※1の影響を受けつつも、一部の既存顧客との取引拡大などにより受注件数は微減にとどまり、値上げ効果で受注単価が上昇し、売上高は前期並みで推移

集合住宅向け 分譲マンションの着工戸数減少※1の影響を受けつつも延べ人工数は前期並みを維持し、値上げ効果により、一人当たりの生産性は上昇し、売上高は増加

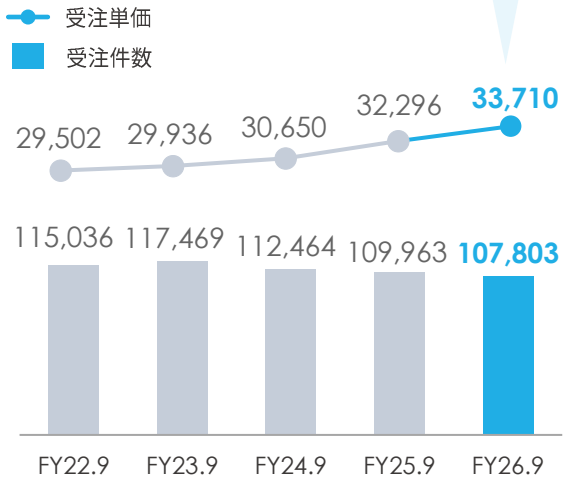
売上高の推移 （百万円）



主要KPI

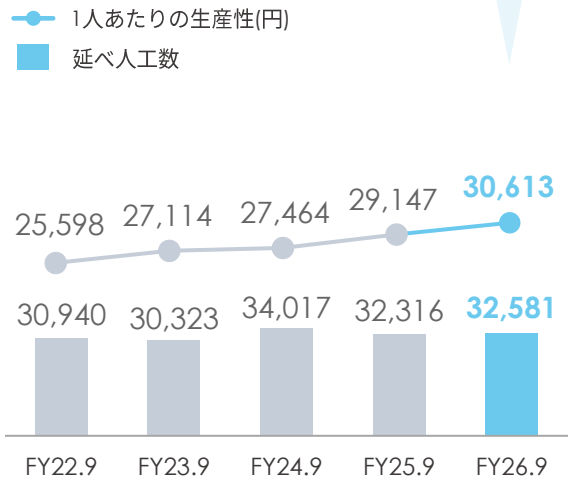
戸建向けリペア

受注単価 YoY 104.4%
受注件数 YoY 98.0%



集合住宅向けリペア

1人当たりの生産性 YoY 105.0%
延べ人工数 YoY 100.8%



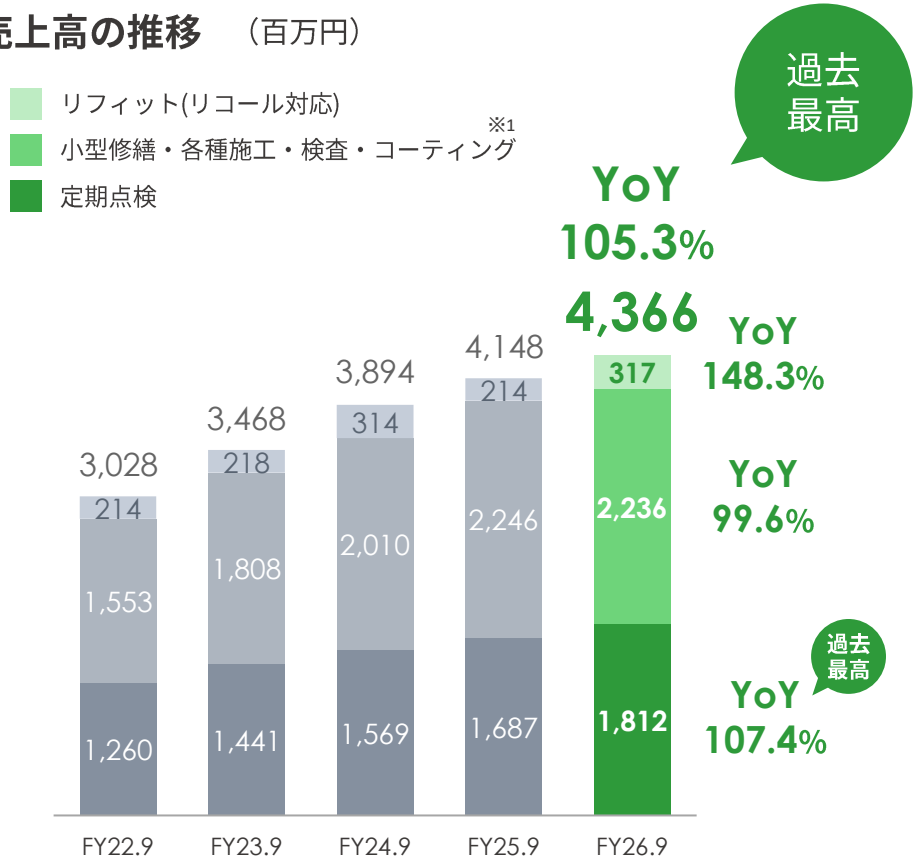
※1：新設住宅着工戸数　戸建住宅建築期間（着工から竣工までの平均6カ月前）を考慮した 2025年4月～2026年3月 の前期比 89.8%（出典：国土交通省）／マンション建築期間（着工から竣工までの平均12カ月前）を考慮した 2024年10月～2025年9月 の前期比 84.4%（出典：国土交通省）

© CANDEAL Co., Ltd.

サービス別状況：住環境向け建築サービス

- 「定期点検」は、既存顧客からの受注増加を中心に実施件数が増加、値上げ施策の奏功で受注単価も上昇し、売上高は順調に伸長
- 「小型修繕・各種施工・検査・コーティング」の売上高は、引渡し検査の堅調推移に加え、定期メンテナンス工事（引渡し後5年・10年目以降）が増加した一方で、コーティングなどの案件獲得が伸び悩み、前期並みで推移
- リフィット案件(リコール対応)の増加もあり、住環境向け建築サービス全体の売上高は、過去最高を更新

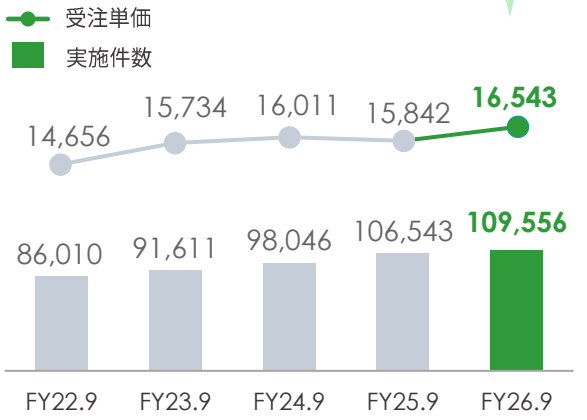
売上高の推移 （百万円）



主要KPI

定期点検

受注単価 YoY 104.4%
実施件数 YoY 102.8%



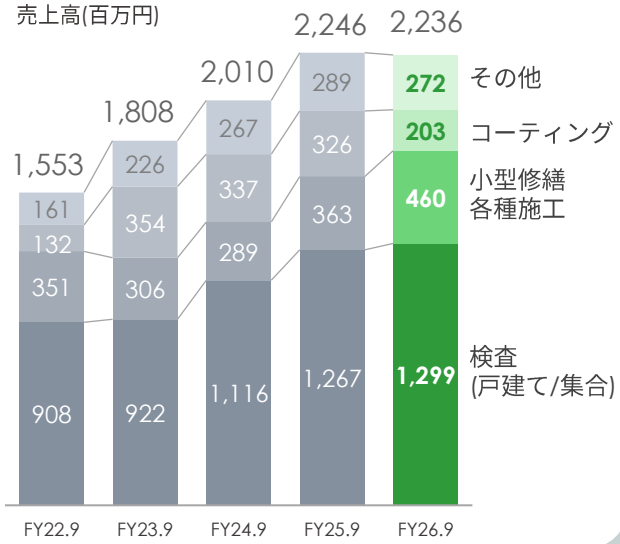
累積管理戸数 FY2026.9

前期比112.5%で順調に推移

785,939戸

小型修繕・各種施工 検査・コーティングの売上高推移

- 検査は、集合住宅向けは前期並みで推移
- 小型修繕・各種施工は、ストック需要を取り込み増加傾向で推移
- コーティング、その他は案件獲得が伸び悩み前期を下回る



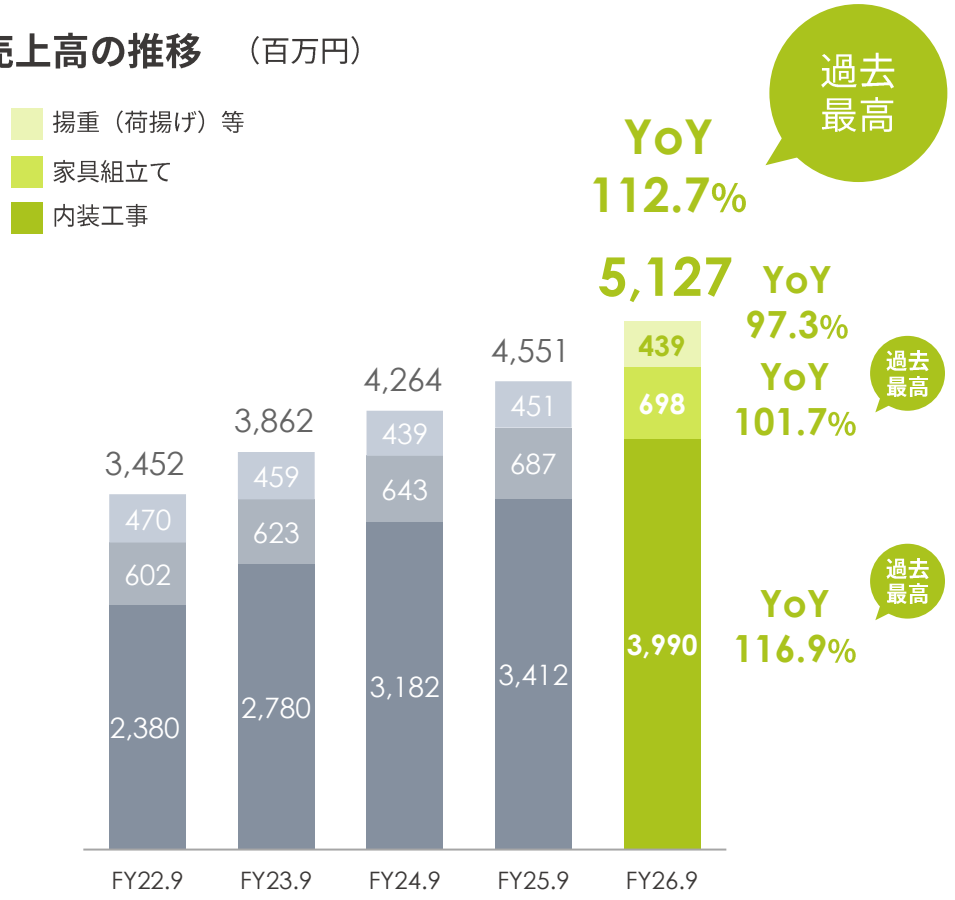
※1：2023年9月期より「抗ウイルス抗菌サービス」は「住環境向け建築サービス」に含む形で区分変更しています／他の事業年度も当該変更後の数値とし、前期比を算出しています

© CANDEAL Co., Ltd.

サービス別状況：商環境向け建築サービス

- 商環境市場の需要堅調により、店舗(携帯・アパレル、飲食など)や医療施設などの新装工事、ホテル、オフィスなどの改装工事案件が増加
- 家具量販店からの組み立て受注は堅調推移
- 商環境向け建築サービス全体の売上高は、過去最高を更新

売上高の推移 （百万円）



内装工事の案件規模別 売上高

（百万円）	FY2025.9	FY2026.9	増減額	YoY
売上高	3,412	3,990	+577	116.9%
大型 1,000万円以上	1,454	1,782	+327	122.5%
中型 500～1,000万円未満	314	409	+94	130.1%
小型 500万円未満	1,643	1,798	+155	109.4%

© CANDEAL Co., Ltd.

取引先上位 20 社

		リペア サービス	住環境向け 建築サービス	商環境向け 建築サービス	商材販売	主な取引内容	Q3 時点での 順位
1	一建設株式会社	●	●			検査／リペア 定期点検／小型修繕・各種施工	1
2	イケア・ジャパン株式会社			●		家具組立て（全店舗）	2
3	株式会社一条工務店	●	●		●	リペア／定期点検／小型修繕・各種施工	3
4	株式会社エイムクリエイツ			●		店舗・商業施設内装工事	6
5	ＴＯＰＰＡＮ株式会社			●	●	オフィスなどの内装工事	4
6	アイディホーム株式会社	●	●			リペア／定期点検／小型修繕・各種施工	8
7	楽天モバイルエンジニアリング株式会社			●		店舗内装工事	5
8	株式会社綜合デザイン			●		店舗・商業施設・ホテル内装工事	7
9	株式会社丹青社	●		●		店舗内装工事／リペア	9
10	アイリスチトセ株式会社			●		オフィスなどの内装工事	10

上位11～20位

株式会社サカイ引越センター ／ 住友不動産ハウジング株式会社 ／ 清水建設株式会社 ／ 大東建託株式会社 ／ 前田建設工業株式会社 ／ ＹＫＫＡＰ株式会社
株式会社アイ工務店 ／ 株式会社オリバー ／ 株式会社ディー・ブレーン ／ 株式会社竹中工務店

© CANDEAL Co., Ltd.

施工体制の方針 と 自社技術者数・協力会社数の推移

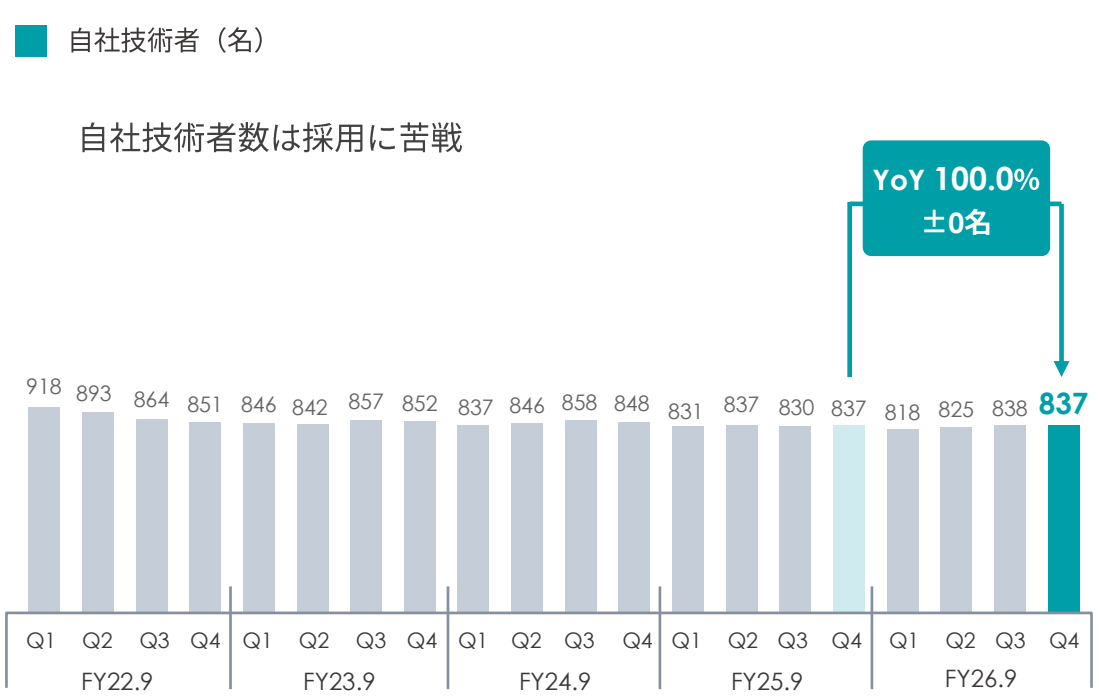
方針

採用強化と多様な労働力の確保

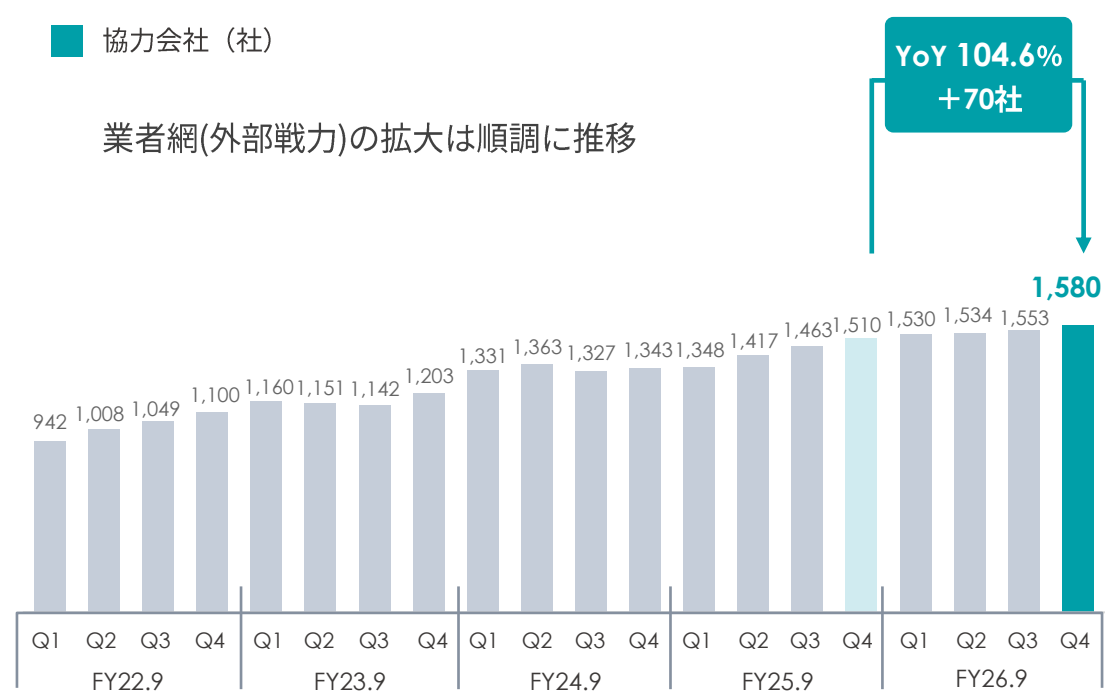
- 自社技術者と外部戦力(協力会社・ FC加盟店・アライアンス先)の全方向で拡大
- 自社技術者を現場管理者へと育成し、品質管理レベルを維持
- リテンション施策の推進

労働力確保の全体感としては順調に推移しているが、自社技術者の採用・定着は課題／採用・定着への投資は継続

自社技術者数の推移 ※1



協力会社数の推移



※1：自社技術者は、現場稼働人員を指し、管理職は含まれておりません

© CANDEAL Co., Ltd.

03

FY2027.9
業 績 予 想



© CANDEAL Co., Ltd.

FY2027.9 通期業績予想

中長期的な成長に向けて、人的投資(採用・育成、処遇改善など)、業務効率化とセキュリティ強化を目的とした
システム投資を行いながら、増収増益を計画し、過去最高の売上高・営業利益を目指す

売上

・住宅市場は、新築需要は弱含みで推移することを想定
　ストック領域は、営業・体制強化で定期点検、定期メンテナンス工事の案件獲得を狙い、受注増加を見込む
・商環境市場は堅調市況を追い風にして、体制強化で需要取り込みを見込む
・全体的に、値上げ施策の継続と、労働力の確保（自社技術者の採用・定着、施工管理者の増強など）を実施予定

費用面

・原価高騰、人的投資、システム投資、セキュリティ対策などによる費用の増加を見込む

（百万円）		FY2026.9	FY2027.9予想	増減額	YoY
売上高		**14,777**	**16,818**	**＋2,041**	**113.8%**
	リペアサービス	4,631	4,843	＋211	104.6%
	住環境向け建築サービス	4,366	5,231	＋864	119.8%
	商環境向け建築サービス	5,127	5,998	＋870	117.0%
	商材販売	651	745	＋93	114.4%
営業利益		**485**	**487**	**＋1**	**100.2%**
経常利益		**488**	**436**	**▲52**	**89.3%**
当期純利益		**244**	**191**	**▲53**	**78.3%**
のれん償却前経常利益		**680**	**628**	**▲52**	**92.3%**
のれん償却前当期純利益		**437**	**383**	**▲53**	**87.8%**
ROE		**8.0%**	**6.0%** ※1	**—**	**▲2.0Pt**

※1：2027年9月期のROEは、上記の業績予想による予想純資産額に基づき算定しています

© CANDEAL Co., Ltd.

株主還元について

配当金		FY2026.9	FY2027.9 予想
FY2027.9 予想	中間	0円	0円
期末配当のみで 1株あたり、**10円を予定**	期末	10円	10円
	年間配当	10円	10円

株主優待制度	保有株式数	株主優待
対象株主様お一人につき、保有株式に応じて 右記の金額のQUOカードを贈呈 (株主優待の基準日：**3月末**)	200株以上、2,000株未満	QUOカード 3,000円分
	2,000株以上、6,000株未満	QUOカード 4,000円分
	6,000株以上	QUOカード 5,000円分

※現時点で株主還元の変更予定はありませんが、今後の経営成績により変更する可能性があります

© CANDEAL Co., Ltd.

04

今後の方針

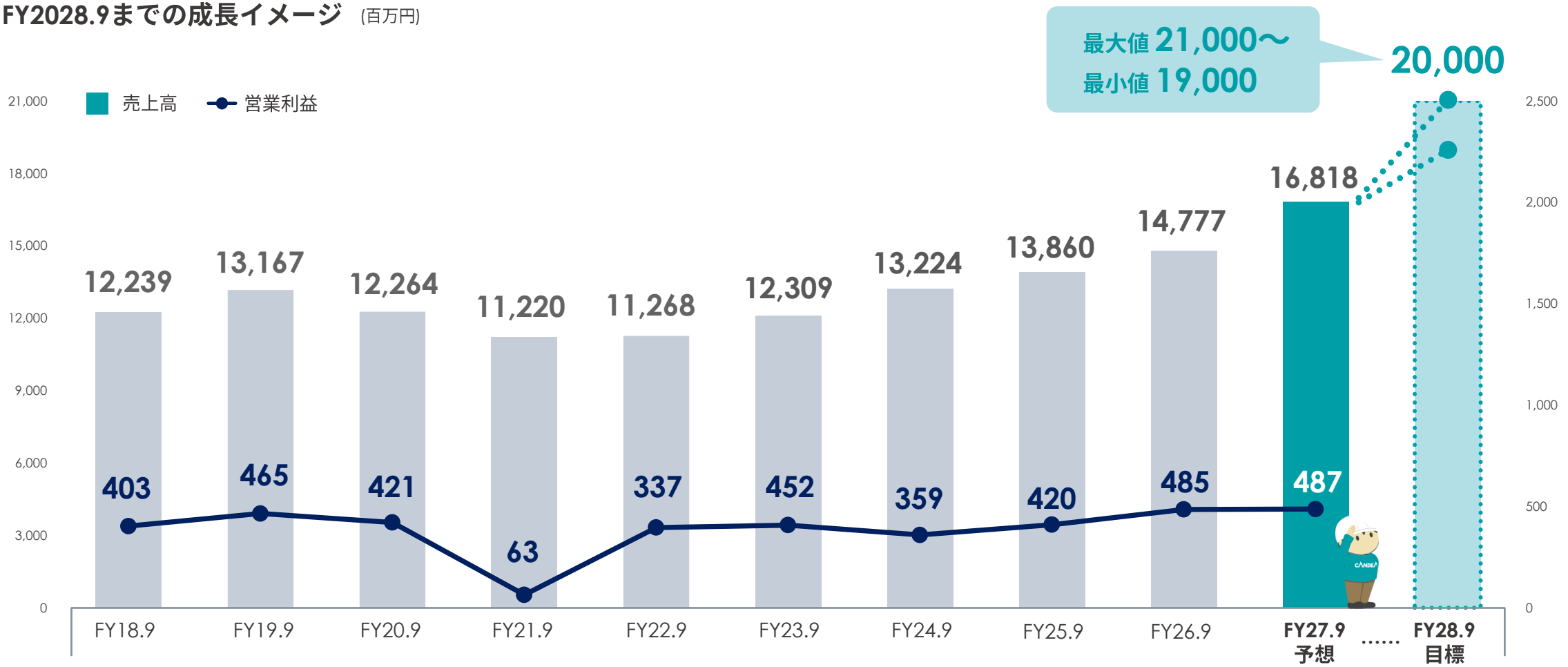


© CANDEAL Co., Ltd.

中期の成長イメージ

FY2028.9の売上高200億円の目標にむけて、利益面は改善を図り、事業成長を目指す

FY2028.9までの成長イメージ (百万円)



© CANDEAL Co., Ltd.

需要動向／取り巻く環境

需要動向 ※1

住宅市場

- 新築市場での競争加速
- ストック市場での収益化に向けた動きが徐々に強まる想定

新築市場は中長期的に縮小

新設住宅着工戸数　2027年度は75万戸前後で推移する見込み
2030年度80万戸、2040年度61万戸へ

メンテナンス・リフォーム市場は堅調推移

リフォーム市場規模(狭義)　2040年　約8兆円

住宅ストックの省エネ化に向けた国の目標などにより
既存住宅の改修需要の高まりが期待される

商環境市場

商業関連の内装施工需要は堅調見込み
(商業施設・ホテル・オフィスなど)

インバウンド拡大を追い風に堅調推移

再開発や建物の老朽化に伴う改装・改修需要

当社グループの課題

労働人口減少による
建築技術者不足 施工体制の制約

資材価格・労務費の上昇による
建設コストの増加

時間外労働の上限規制を踏まえた
施工体制の確保



世界情勢

円安の継続 ／ 資源価格の変動 ／ 中東情勢をはじめとする国際情勢の緊迫化や海外経済の減退など外部環境の不確実性

国内

物価高の長期化による消費マインドへの影響、金利上昇や住宅価格の高止まり
デジタル化の加速／働き方・生活スタイルの多様化

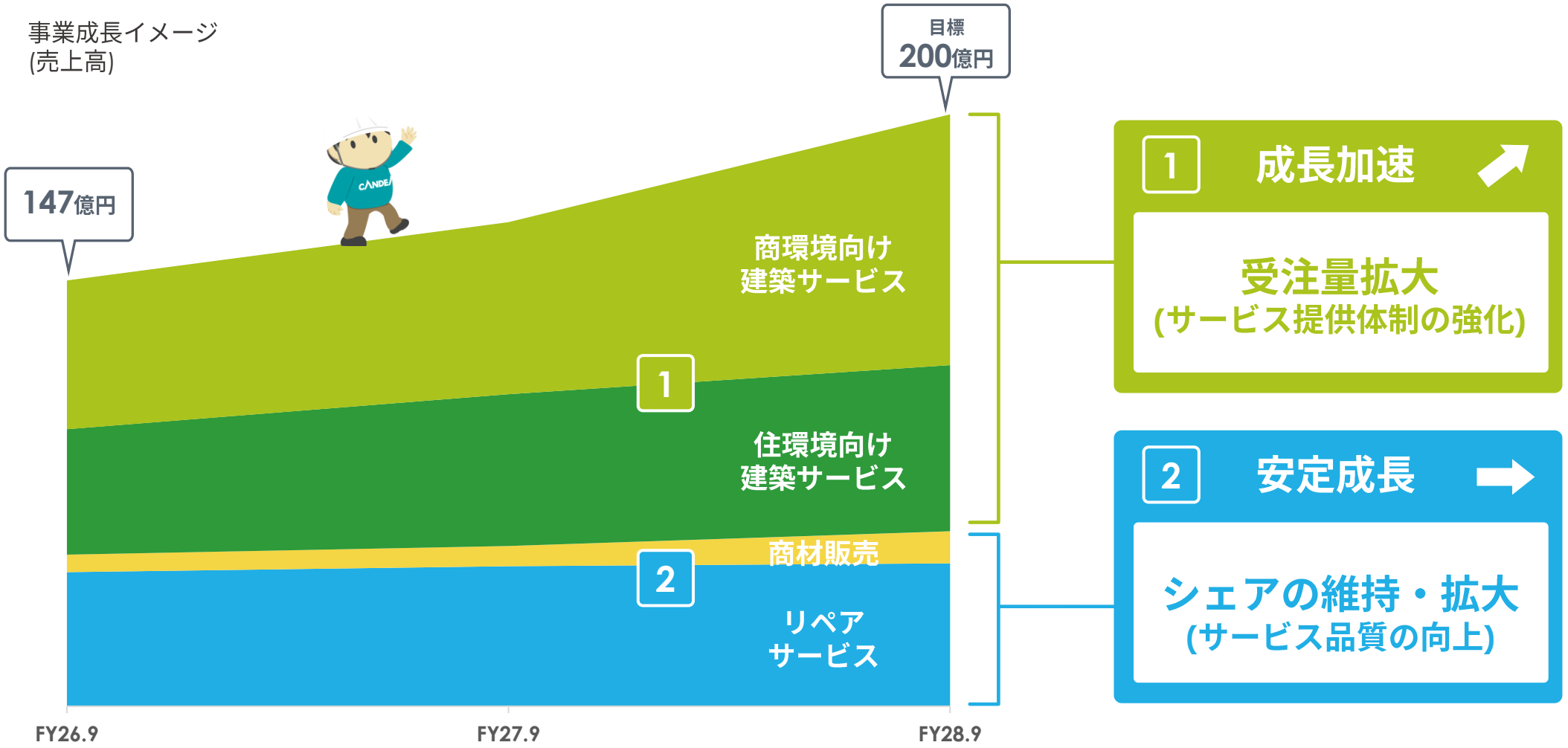
※1 出典：新設住宅着工戸数（2027年度）…建設経済研究所・経済調査会（2026年10月）／新設住宅着工戸数（2030年度・2040年度）、リフォーム市場規模（狭義）…野村総合研究所（2026年6月）による予測値
現時点での当社見立ての今後の市場環境予測を含みます

© CANDEAL Co., Ltd.

今後の方針

成長を期待するサービスの販売強化で収益拡大

事業成長イメージ
(売上高)



1 成長加速

受注量拡大
(サービス提供体制の強化)

2 安定成長

シェアの維持・拡大
(サービス品質の向上)

© CANDEAL Co., Ltd.

住宅ストック領域での収益化に向けた取り組み

点検累積管理戸数 約78万戸・年間点検実施件数 10万件以上 ※1 の住宅オーナー接点を活かし、住宅事業者と収益機会の創出を目指す

・住宅事業者のストック領域における「住宅オーナーとの接点維持」「収益化」を支援する体制を構築・拡充中
・適切な点検・メンテナンス工事まで一貫して担い、短期からの継続的な接点で「顔なじみのパートナー」としての信頼を深め、点検実施率・工事成約率の向上を通じて収益成長につなげる
・住宅オーナー・住宅事業者・当社グループの三者にとって価値のある「三方よし」の取り組みとして推進

■接点・収益化フロー(引渡し後～長期)

短期保証期間 (～２年)　　長期保証期間　(5年目以降～)

引渡し　2年　5年　10年　35年　60年

アナログ接点

認知・信頼関係の基盤構築

定期点検(短期点検) メンテナンス



定期的な接点維持とメンテナンス工事などの提案で、収益機会の創出へ

定期点検 (長期点検) ＋ **有償メンテナンス工事の提案・実施**

・契約年数に応じたタイミングで点検を実施
・延長保証工事や、点検状況から必要と判断される メンテナンス工事の提案・実施（防蟻・外壁塗装・排水管洗浄など）


最終桝の高圧洗浄

デジタル接点



WEBサービス(アプリ)

いつでもつながる接点：情報提供・相談受付・各種提案

点検案内・リマインド 通知 ／ 住生活情報の提供 ／ リフォームなどの相談受付
点検データの傾向分析をもとにした工事・サービス提案
ライフステージに合わせた工事・サービス提案　　など

価値創出

住宅オーナー
資産価値の維持
いつでも気軽に相談できる安心感
業者選びの不安解消

住宅事業者
オーナー満足向上
ストック領域での継続的な収益機会の獲得

当社グループ
点検・メンテナンス工事の継続的な受注機会の獲得

※1：点検累積管理戸数・年間点検実施件数は、2026年9月期実績です／P.11「サービス別状況：住環境向け建築サービス」をご参照ください

© CANDEAL Co., Ltd.

重点施策

事業・サービス

1 受注価格の適正化

- 価格設定、契約条件の見直し
- 既存顧客への値上げ交渉の実施
- 採算性を重視した受注判断

2 労働力・施工力の拡大

- 自社技術者、協力会社、FCの全方向で労働力を拡大
- 労働力の効果的／効率的活用
- 施工管理者の採用、育成強化

3 生産性の向上

現場の稼働効率向上

需給に合わせて技術者を適切に配置・調整することで、稼働を向上させる

オペレーション体制の改善

少ない人数で売上高の増加を支えるべく、オペレーション効率を向上させ利益改善につなげる
(基幹システムの刷新／AI活用など)

4 M&A アライアンスの推進

- 建物ライフサイクルサポートと親和性の高い企業のM&Aを重視
- 技術力・品質・組織・顧客基盤を一体で取り込み、成長を加速
- アライアンスによる機能補完

人的資本

5 人的資本経営への取り組み強化

人的資本への投資を進め、
グループ自体が持続的に成長していけるよう、人的基盤の強化を推進

- 待遇改善
- 教育・研修の充実
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 多様性の確保
- ワークエンゲージメントの向上
- リスキリング・アップスキリング
- AI活用スキルの向上

など

© CANDEAL Co., Ltd.

05

Appendix



© CANDEAL Co., Ltd.

グループ概要

グループビジョン　全ての建物に“キャンディル”

事業の軸　人々が抱える建物に対するストレスを解消し、安心・快適な環境づくりに貢献する

会社概要

会社名	株式会社キャンディル
本社所在地	東京都新宿区北山伏町1-11 牛込食糧ビル3階
代表者	代表取締役社長　林 晃生
設立	2014年8月7日
決算期	9月
資本金	561百万円
従業員数	1,243名　(連結：臨時従業員を含む)
拠点数	49拠点　(連結)

事業概要	戸建て・集合住宅・商業施設などあらゆるフィールドで「建築サービス関連事業」を展開 ・リペアサービス ・住環境向け建築サービス ・商環境向け建築サービス ・商材販売
グループ会社(100%子会社)	株式会社バーンリペア 株式会社キャンディルテクト 株式会社キャンディルデザイン 株式会社キャンディルパートナーズ

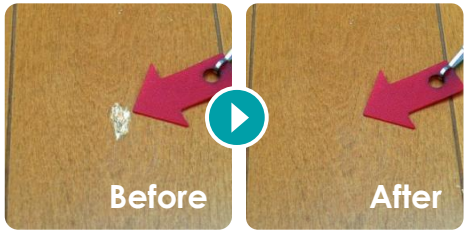
※数値は2026年9月現在

© CANDEAL Co., Ltd.

事業内容

戸建て・集合住宅・商業施設などあらゆるフィールドで「建築サービス関連事業」を展開

建築サービス関連事業の単一セグメントからなり、建物の「修繕・改修・維持・管理」に資するサービスを提供

	リペアサービス	住環境向け建築サービス	商環境向け建築サービス	商材販売
	建材のキズ補修	既存住宅の定期点検 メンテナンス	商業施設・オフィスなどの 内装工事	メンテナンス材の販売
				
メイン市場	住宅市場 (新築)	住宅市場 (アフター・ストック)	商環境市場	住宅市場
提供 タイミング	住宅竣工時/引渡し前 (建築の最終工程)	住宅引渡し後 アフター・ストック期間	新・改装／移転など 建物の内装が替わる時	EC/ホームセンター 量販店で販売
売上構成比	31.3%	29.5%	34.7%	4.4%

自社技術者
837 名

協力会社・FC加盟店
1,580 社

拠点数
全国 49 拠点

※数値は2026年9月現在

© CANDEAL Co., Ltd.

ビジネスモデル

「建築関連事業者」と「住宅・商業施設・オフィス等のオーナー」の双方に向けてサービスを提供

B to B to C　の ビジネスモデル

CANDEAL グループ

建築サービス関連事業

- リペアサービス
- 住環境向け建築サービス
- 商環境向け建築サービス
- 商材販売

クライアント(建築関連事業者)

住宅関連事業者

ハウスメーカー ／ パワービルダー
建材メーカー ／ デベロッパー
リフォーム業者 ／ 一般エンドユーザー

商環境関連事業者

店舗内装業者 ／ チェーン店舗
商業ゼネコン ／ 家具メーカー
ホテル事業者



サービス提供

エンドユーザー



個人住宅
(新築／既存)



商業施設、店舗
ホテル・オフィス
その他施設

© CANDEAL Co., Ltd.

免責事項

本資料は、株式会社キャンディル（以下「当社」といいます。）が当社及び当社グループ会社（以下総称して「当社グループ」といいます。）の企業情報等の提供のために作成したものであり、国内外を問わず、当社が発行する株式その他の有価証券の売買等の勧誘をするものではありません。

本資料に、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標等の将来に関する記述がなされていますが、これらの記述は、一定の前提（仮定）をもとに、本資料の作成時点において当社が入手している情報に基づき、その時点における予想等を基礎としてなされたものです。これらの記述又は前提（仮定）は、客観的に不正確であったり、又は将来実現しない可能性があり、そのため将来の見通しと実際の結果は大きく異なる可能性があります。

© CANDEAL Co., Ltd.

全ての建物に“キャンディル”

CANDEAL

